

表紙，奥付，目次

| | |
|-----|---|
| 雑誌名 | 国立国語研究所論集 |
| 号 | 13 |
| 発行年 | 2017-07 |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1328/00001380/ |

国立国語研究所論集

NINJAL Research Papers

13

2017年7月

July 2017

1. 刊行

国立国語研究所（以下、「研究所」という。）における研究活動の活性化と成果の公表及び所内若手研究者育成を目的として、『国立国語研究所論集』（英語名“NINJAL Research Papers”）を各年度に2回（7月と1月）発行する。

2. 投稿資格

投稿は次のいずれかに該当する者とする。ただし、共著の場合は第1著者が次のいずれかに該当すればよい。

(1) 研究所の研究教育職員・研究員

(2) 研究所の客員教員，非常勤研究員・プロジェクト研究員，外来研究員，共同研究プロジェクトに参画している共同研究員（外来研究員及び共同研究員が投稿する場合は，それぞれ，受入れ教員及び参画している共同研究プロジェクトのリーダーに相談の上，投稿申し込みを行うこと。）

(3) 研究所の名誉教授

(4) その他，国立国語研究所論集編集委員会（以下、「編集委員会」という。）が認めた者

(注)上記(1)(2)に該当する者が退職または任期終了した場合は，その後5年間は投稿資格を有するものとする。

ただし，年度途中の退職または任期終了は，その年度末に発生したものとみなす。

3. 投稿時期 投稿原稿の締切は，毎年1月末日及び7月末日とする。

4. 論文内容

(1) 投稿は未公開のオリジナルな原稿に限る。他誌に投稿中の原稿は投稿できない。

(2) 研究所の設置目的に沿う内容なら，理論・記述・調査・実験等の手法や分析の枠組みは問わない。ただし，「2. 投稿資格」の(2)に該当する者が投稿する場合は，内容は研究所在職中の研究内容・成果に限るものに限る。

(3) 研究所の研究教育職員・研究員及び非常勤研究員・プロジェクト研究員が投稿する場合は，原則としてNINJALサロンで発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。また，共同研究員が投稿する場合は，原則として，参画している共同研究プロジェクトの研究発表会で発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。

(4) 共同研究員が投稿する場合は，論文の内容は，共同研究プロジェクトの研究内容及び研究成果であること。（後略）

(5) 外来研究員が投稿する場合は，論文の内容は，滞在期間中の研究題目に関する研究内容及び研究成果であること。（後略）

(6) 研究の中間報告，既発表論文のデータ補足的な報告も可とする。

5. 原稿のカテゴリー 「論文」のみとし，研究ノートや書評紹介は含めない。

6. 原稿の書式等（略）

7. 原稿提出方法（略）

8. 著作権

著者は，原稿を投稿する際に，以下を承諾したものとする。

・個々の論文の著作権は著者に帰属する。

・著者は，論文の複製権と公衆送信権の行使を研究所に許諾する。

・その他「国立国語研究所における編集著作物の取扱いについて」に定められている事項。

なお，他の著作物に掲載された図版の転載等にかかわる著作権処理，及びデータの利用・公開にかかわる関係者の許諾取得は，著者の責任において行うこと。

9. 採否 原稿の採否は，編集委員会が査読の上，決定する。

10. 校正（略） 11. 稿料（略） 12. 抜刷等（略）

「投稿・執筆要領」の全文および『国立国語研究所論集』オンライン版は、
国立国語研究所ウェブサイトをご覧ください。

Please visit the NINJAL website. You can download (i) the entire text of the guidelines for
manuscript submission and the style sheet, and (ii) full-text PDF files published in *NINJAL*
Research Papers.

<http://www.ninjal.ac.jp/publication/papers/>

編集委員会 Editorial Board *委員長 Editor-in-chief

福永由佳 (FUKUNAGA Yuka)

井上文子 (INOUE Fumiko)[†]

三井はるみ (MITSUI Harumi)

新野直哉 (NIINO Naoya)

山崎 誠 (YAMAZAKI Makoto)*

[†]2017年4月より

国立国語研究所論集 第13号

NINJAL Research Papers No. 13

2017年7月31日 発行

編 集 国立国語研究所論集編集委員会

発 行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

TEL: 042(540)4300 (代表)

<http://www.ninjal.ac.jp/>

E-mail: papers@ninjal.ac.jp (編集委員会)

印刷所 中西印刷株式会社

- 南琉球宮古多良間方言における2種類のアクセント型の中和 青井隼人
- 基底と精緻化から見た複合語の分類
——日本語複合動詞を中心に—— 陳 奕廷
- 制度的場面における会話の終結に関する一考察
——実習反省会の観察から—— 居關友里子
- 中古における接続表現の統計的分析
——指示詞を構成要素とするものを中心に—— 小林雄一郎・岡崎友子
- 日本語学習者と母語話者の産出語彙の相違
——I-JASの異なるタスクを用いた比較—— 小西 円
- 統語構造アノテーション支援ツールの開発 窪田悠介
- 初級読解教材作成を目指した非漢字系初級学習者の読解過程の分析 桑原陽子
- 近代雑誌コーパスにおける漢語語彙の特徴
——BCCWJとの比較から—— 間淵洋子
- 磁気テープの多チャンネル読み取りによる高速デジタルアーカイビング 大内康裕
- 学習者の情意面の評価に基づくピア・リーディングの授業改善の可能性
——学術的文章を読む読解授業の談話データから—— 田中啓行・布施悠子・胡 方方・石黒 圭
- 徳之島浅間方言のアクセント資料 (4) 上野善道

目 次 Contents

| | | |
|---|---|-----|
| 南琉球宮古多良間方言における 2 種類のアクセント型の中和 Two Types of Accent Neutralization in Miyako-Tarama Ryukyuan | 青井隼人 AOI Hayato | 1 |
| 基底と精緻化から見た複合語の分類 ——日本語複合動詞を中心に—— The Classification of Compounds in Baseline/Elaboration Theory: Focusing on Japanese Compound Verbs | 陳 奕廷 CHEN Yi-Ting | 25 |
| 制度的場面における会話の終結に関する一考察 ——実習反省会の観察から—— A Study of Conversation Closings in Institutional Settings: Analysis of Evaluation Meetings of Teaching Practice | 居關友里子 ISEKI Yuriko | 51 |
| 中古における接続表現の統計的分析 ——指示詞を構成要素とするものを中心に—— A Statistical Analysis of Conjunctions in Early Middle Japanese with a Focus on Deictic Expressions | 小林雄一郎・岡崎友子 KOBAYASHI Yuichiro and OKAZAKI Tomoko | 65 |
| 日本語学習者と母語話者の産出語彙の相違 ——I-JAS の異なるタスクを用いた比較—— Differences in Words Used by Learners of Japanese and Native Speakers: I-JAS Comparison Using Different Tasks | 小西 円 KONISHI Madoka | 79 |
| 統語構造アノテーション支援ツールの開発 Development of a Syntactic Annotation Tool for Parsed Corpora | 窪田悠介 KUBOTA Yusuke | 107 |
| 初級読解教材作成を目指した非漢字系初級学習者の読解過程の分析 Analysis of Non-Kanji Culture Japanese Elementary Proficiency Learners' Reading Process to Create Teaching Materials for Beginners Fostering Reading Comprehension | 桑原陽子 KUWABARA Yoko | 127 |

| | | |
|---|--|-----|
| 近代雑誌コーパスにおける漢語語彙の特徴 ——BCCWJ との比較から—— | 間淵洋子 | |
| A Corpus-Based Study of Sino-Japanese Words in Modern Magazines: A Comparison with BCCWJ | MABUCHI Yoko | 143 |
| 磁気テープの多チャンネル読み取りによる高速デジタルアーカイビング | 大内康裕 | |
| High-Speed Digital Archiving of Magnetic Tape Using a Multichannel Reading System | OUCHI Yasuhiro | 167 |
| 学習者の情意面の評価に基づくピア・リーディングの授業改善の可能性 ——学術的文章を読む読解授業の談話データから—— | 田中啓行・布施悠子・胡 方方・石黒 圭 | |
| Study on Potential Improvement of Peer Reading Class on the Basis of Learners' Emotional Evaluation of the Class: From the Data on the Reading Comprehension Class for Academic Writing | TANAKA Hiroyuki, FUSE Yuko, HU Fangfang and ISHIGURO Kei | 187 |
| 徳之島浅間方言のアクセント資料 (4) | 上野善道 | |
| Accent Data from the Asama Dialect in Tokunoshima, Amami: Part 4 | UWANO Zendo | 209 |